平成２６年度　　事務事業評価シート

章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	Ⅳ	自立した暮らしへの支援
目標		生活基盤の弱い立場にある市民の生活安定と経済的自立の促進を図る。ひとり親家庭等の社会参加機会の拡大及び生活の安定を図る。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	自立支援教育訓練講座受講件数	件	3	2	1	2	0	0	－	6

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　自立した暮らしへの支援	①　生活安定対策の推進	・民生委員児童委員や関係機関との連携を図り、経済的に困窮している低所得者や生活上の問題を抱える市民への相談や支援に努めます。
1-②	1　自立した暮らしへの支援	②　ひとり親家庭への支援	・関係機関と連携を図り、ひとり親家庭への総合的な相談体制の充実や支援制度の普及・活用に努めます。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等（※ハード事業の場合は、施設名を記載）	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	1-①	低所得者等援護対策・たすけあい金庫事業 13411001	保健福祉部	社会福祉G	S53	－	ソフト	一般会計	登別市社会福祉協議会が行なうたすけあい金庫事業の安定的な貸付を継続し、低所得者世帯の経済的な生活安定と福祉の向上に努めることを目的とする。	H24	登別市社会福祉協議会	低所得者世帯の経済的な生活安定と福祉の向上を図るため、たすけあい金庫貸付原資金として社会福祉協議会に貸付を行った。 【主な貸付対象】 応急生活費、高額療養費の貸付	たすけあい金庫（応急援護資金）貸付規程、たすけあい金庫（応急援護資金）貸付審査委員会規程
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり
2	1-①	災害見舞金 13411002	保健福祉部	社会福祉G	S49	－	ソフト	一般会計	災害や自然災害で被害を受けた市民の金銭的な救援を目的とする。	H24	被害者、遺族等（登別市災害見舞金条例第３条）	市民が災害や自然災害により次の被害を受けた際、被害状況に応じて災害見舞金を支給した。 ・住居の被害：全壊、流失、埋没、半壊、半流失、半埋没 ・人身の被害：死亡、負傷	登別市災害見舞金条例、登別市災害見舞金条例施行規則
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
3	1-②	母子家庭等自立支援事業（自立支援教育訓練給付金） 13412002	保健福祉部	子育てG	H16	－	ソフト	一般会計	ひとり親家庭の保護者の職業能力を向上させることにより、ひとり親家庭の社会的自立を目的とする。	H24	母子家庭の母親	・自立支援教育訓練給付金 職業教育訓練（ヘルパー資格）費用の２割を訓練終了後に支給。 ・高等技能訓練促進給付金 高等技能訓練（看護師等）期間中の生活を支援するため、給付金を支給した。	母子及び寡婦福祉法、登別市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱、登別市高等技能訓練促進費等事業実施要綱
										H25	ひとり親家庭の保護者	上記のとおり	上記のとおり
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり

NO	事業の成果、目標：指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
1	貸付金額（年度ベース）	千円	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	－	－	－	－	－	－	－	－
2	住居被害による見舞金支給額（年度ベース）	千円	70	20	180	180	180	180
	人身被害による見舞金支給額	千円	0	10	120	120	120	120
3	自立支援教育訓練給付金受給者数	人	0	0	2	2	2	2
	高等技能訓練促進給付金受給者数	人	2	2	3	3	3	3

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】

NO	名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
1	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他	貸付回収元金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	一般財源							
	合　計		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
2	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		70	30	300	300	300	300
	合　計		70	30	300	300	300	300
3	国庫支出金	自立支援教育訓練・高等技能訓練促進給付費補助金	1,552	1,572	2,502	2,502	2,502	2,502
	道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		519	524	834	834	834	834
	合　計		2,071	2,096	3,336	3,336	3,336	3,336

		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
全会計　合計	国庫支出金	1,552	1,572	2,502	2,502	2,502	2,502
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	一般財源	589	554	1,134	1,134	1,134	1,134
	合計	7,141	7,126	8,636	8,636	8,636	8,636
一般会計　合計	国庫支出金	1,552	1,572	2,502	2,502	2,502	2,502
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	一般財源	589	554	1,134	1,134	1,134	1,134
	合計	7,141	7,126	8,636	8,636	8,636	8,636
区分【再掲】		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案

Check

NO	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	・社会福祉協議会へ貸付することにより、たすけあい金庫事業の安定的な運営を支援し、低所得者世帯の自立更生と生活の安定を図ることから、必要な事業である。
	H25	上記のとおり		
	H26	上記のとおり		
2	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	被災者に見舞金を支給することで、対象世帯の経済状況の悪化を軽減することができる。
	H25	上記のとおり		
	H26	上記のとおり		
3	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	訓練終了後の世帯の所得水準は着実に向上しており、社会的自立を促す効果が認められることから、事業を実施する。
	H25	ひとり親家庭の父親についても、本事業の対象とした。		
	H26	上記のとおり		

Action

NO	今後の事業の方向性【H27以降】
1	社会福祉協議会への貸し付けを継続し、低所得者世帯の経済的な生活安定を図っていく。
2	今後も支給を続けることで、災害や自然災害で被害を受けた市民の金銭的な救援を行っていく。
3	訓練終了後の世帯の所得水準は着実に向上しており、社会的自立を促す効果が認められることから、事業を実施していく。